

志摩市総合計画審議会 第4回審議会およびご意見シートによる意見とその回答(コメント)

No.	会議	委員名	意見の要旨	回答(◇当日の回答コメント、◆今回(会議後)の回答コメント)
1	第4回総合計画審議会	山川委員	「1-3 水産業の振興」において、藻場の回復が外海(黒潮大蛇行関連)に偏っている。英虞湾や的矢湾など内海の改善についても記述し、取り組んでほしい。	◇外海だけでなく、内海と合わせ、両面でしっかり取り組んでいく。 →◆「1-3 水産業の振興」において、取組方向性「豊かな海づくりと資源管理」の記述表現について一部修正。
2	第4回総合計画審議会	塩本委員	観光の連携体制の強化について、観光協会やまちづくり株式会社だけでなく、NPOなど多様な団体と連携すべき。また、インバウンド受入は宿泊体制だけでなく、相互の文化理解・交流の視点も盛り込むべき。	◇連携体制については関係団体含めて検討する。インバウンド受入についても、ご意見として承り、今後の参考とさせていただく。 →◆「1-1 観光産業の振興」において、取組方向性「志摩市の認知度向上」の記述表現について一部修正。
3	第4回総合計画審議会	高岸委員	「2-7 地域公共交通の確保・維持」に関し、運転手不足解消のため、運転手への移住補助金や、高齢者が免許返納後も自動運転等で生活できるモデル地域としての発信などを検討してはどうか。	◇ご意見として承り、参考とさせていただく。
4	第4回総合計画審議会	高岸委員	「3-5 障がい者(児)支援の推進」の「学校卒業後まで」という表現は、そこで支援が途切れる印象を与える。「学校卒業以降も継続して」という表現がふさわしい。	◇「以降も」という意味で記載しているが、誤解を招く表現のため修正する。 →◆「3-5 障がい者(児)支援の推進」の該当部分の記述表現について修正。
5	第4回総合計画審議会	高岸委員	「3-7 人権が尊重されるまちづくり」において、外国人雇用や男女賃金格差解消など、人権尊重の経営を率先している市内企業を市としてアピールする取組をしてはどうか。	◇ご意見として承り、参考とさせていただく。
6	第4回総合計画審議会	塩本委員	「3-8 ダイバーシティ・多文化共生の推進」において、災害時等のためにも日本語教育は重要だが、ボランティア頼みで限界がある。交流イベント等の開催にあたり、金銭的負担や場所の確保が困難なため、市として公有施設の利用協力などを検討してほしい。	◇ご意見として、担当部局に伝える

No.	会議	委員名	意見の要旨	回答(◇当日の回答コメント、◆今回(会議後)の回答コメント)
7	第4回総合計画審議会	濱口委員	介護保険の自己負担割合増加により、サービス利用を控える人が出る懸念がある。この問題は計画のどこでカバーされるか。	◇「3-4 高齢者支援の推進」の介護サービス充実等の項目に含まれる。介護保険料の改定については、別途策定する介護保険事業計画の中で議論される予定。
8	第4回総合計画審議会	高岸委員	「誰もが大切にされる教育」(4-1)の不登校支援について、「居場所の確保」だけでなく、自宅でのオンライン学習など「学習機会の保障」の視点を盛り込んでほしい。	◇教育推進計画における「居場所」にはオンライン学習等の環境整備も含まれている。推進計画との整合性を含め確認する。 →◆居場所の確保と合わせ、子どもたちのニーズに応じて、学習機会を提供していく。
9	第4回総合計画審議会	高岸委員	生涯スポーツ(4-3)等の記述において、中学校部活動の地域展開が進む中、地域全体でスポーツ・文化に取り組むという未来の形(地域展開)を示してほしい。	◇並行して策定中の教育推進計画では、部活動の地域展開についてしっかり位置付けている。 →◆総合計画の方向性を踏まえ、教育推進計画などの個別計画に明記し推進していく。
10	第4回総合計画審議会	高岸委員	「未来を創る人材を育む教育」(4-4)の「正しい判断」は「正しい判断力」の誤りではないか。また、「グローバル教育」の定義が「話し合い」となっているが、探求・実践の要素を入れるべき。	◇「判断力」は訂正する。グローバル教育の定義は教育推進計画の記載を確認する。 →◆「4-4 未来を創る人材を育む教育」の取組方向性「グローバル教育」の記述表現について修正(教育推進計画も同時に修正)。
11	第4回総合計画審議会	柘植委員	「1-6 自然環境の保全・活用」が海に偏っている印象がある。陸域の開発や森林、緑地についても注目すべき。	◇ご意見として承り、参考とさせていただきます。
12	第4回総合計画審議会	西尾委員	財源確保(積極的な財源の確保)について、絵に描いた餅にならないよう実行してほしい。	◇財源は国・県など外部財源も含め、しっかり確保していく。
13	第4回総合計画審議会	西尾委員	数値目標について、なぜその数字が良いのか市民に説明できるようにすべき。	◇数値目標はロジックに基づき設定しており、しっかりと説明できるようにする。
14	第4回総合計画審議会	濱口委員	行政運営において「発注関係事務」のみを特出しして体制づくり掲げている意図は何か。	◇貴重な財源の適切な使用の観点と、法令遵守(コンプライアンス)の観点から項目として示している。
15	第4回総合計画審議会	塩本委員	審議会での意見が、「検討します」止まりで実行されない懸念がある。各担当部署に確実に意見が伝わり、反映されるのか。	◇頂いた意見を反映させながら計画を推進させていただく。 →◆計画の進捗管理にあたっては、審議会を設置して市民等の意見を聞きながら施策を推進していく。

No.	会議	委員名	意見の要旨	回答(◇当日の回答コメント、◆今回(会議後)の回答コメント)
16	第4回総合計画審議会	高岸委員	全体を通して「互いに認め合い、支え合う」等の表現がページによって微妙に異なるため、文言の整理・統一をしてほしい。	◇確認して整理させていただく。 →◆該当部分について統一するよう整理。
17	第4回総合計画審議会	松尾委員	部活動の地域展開などの課題は、市民に見てもらえる機会が多い総合計画にしっかり記載したほうが良い。	◇担当部局に伝えさせていただく。 →◆総合計画の方向性を踏まえ、教育推進計画などの個別計画に明記し推進していく。
18	第4回総合計画審議会	山川委員	「全国豊かな海づくり大会」の盛り上がりを一過性にせず、レガシーとして計画の中に残るようにしてほしい。	◇海づくり大会をレガシーとして引き継ぎ、しっかりと取り組んでいく。 →◆「1-3 水産業の振興」において、取組方向性「豊かな海づくりと資源管理」の記述表現について一部修正。
19	第4回総合計画審議会	田邊委員	第一次産業は環境変化が早いため、計画を細かく詰めすぎず、変化に対応できる柔軟性を持たせてほしい。	◇前期基本計画の期間を4年に短縮しており、時代に即して変化に対応できる計画にしていきたい。
20	第4回総合計画審議会	前田委員	不登校支援について、場所の確保だけでなく「学びの場や方法」の視点も重要。一般市民に理解しやすいよう文言を付け加えるべき。	◇担当部局に伝える。 →◆居場所の確保と合わせ、子どもたちのニーズに応じて、学習機会を提供していく。
21	第4回総合計画審議会	南委員	人口減少への危機感が強い。志摩市単独で難しければ近隣市町とも連携し、本腰を入れて対策に取り組んでほしい。	◇人口減少対策は重要課題と認識しており、本計画に基づき、全庁をあげてしっかりと取り組んでいく。
22	第4回ご意見シート	松尾委員	全体的に市民に伝わりやすい内容でわかりやすかったです。個人的には3-9市民等と連携したまちづくりの目標値が少し低いように感じました。祭や自治会はまちとの関わりの最初の一步に近いからこそ重要だと思いますし、こうした団体の担い手が不足してるのをよくに耳にします。もちろん現状関わっていただいています、あまり市民には周知されていないように思います。各町の文化や祭存続のためにも表だって行政の方たちが関わっていただけると心強いですし、そうした連携が次の担い手につながるのではと思いました。	◆3-9の数値目標「まちづくり団体等と協働して地域の魅力づくりに取り組んだ事例数(年間)」については、毎年度、少しずつではあるが、着実に取組事例を積み上げていく想定で設定している。新たな総合計画のもと、「連携・共創」を基本姿勢に、職員も市民の皆様とともに汗をかきながら、さらなる市民参画、担い手の確保につなげられるよう、取組を推進していく。